

平成29年度における四條畷市野外活動センターの管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 青少年育成課

評価対象：平成29年4月1日～平成30年3月31日

評価委員会開催日：平成30年11月8日

1 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人ナック
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間）
施設概要	市民が余暇時間の活用として日常生活から離れ、豊かな自然環境の中で、森林浴や日光浴などを通じて、心身のリフレッシュを図るとともに、新たな仲間づくりやコミュニティづくりを進めることを本旨とする。
指定管理料	13,200,000円（平成29年度）

2 管理運営の内容

項目	29年度の状況
運営状況	<p>（1）平等利用の確保</p> <p>①すべての利用者に対して情報の提供、施設の利用許可、調整などにおいて、サービスの均一化を徹底し、公平、公正な対応に努めた。</p> <p>②電話利用申込みを定着させたことで、FAXや直接来場しての申込みができない方も、簡単に利用申込みが可能となった。後日、利用申請書記入の際、受付カウンターにて説明しながら記入いただき、料金内訳などを説明しながら、高齢の方だけではなく、すべての利用者に徹底した援助、サービスに努めた。</p> <p>（2）自主事業の展開</p> <p>①施設が保有する天体機器を活用した天体観望事業「SORA☆星の学校」を月2回ペースで実施し、流星群などの天体トピックスの事業も盛り込み、家族を中心とした参加者に広く天体への関心を持っていただけるよう努めた。</p> <p>平成28年度からスタートした「星空案内人養成講座」は大阪府内でも唯一となる講座で、平成29年度の第2期も受付初日から申込み多数となった。講座、実技、レポート、試験を経て資格認定し、サイエンスコミュニケーターとしての星空ボランティアの育成を主旨としており、現在は数人ずつが交代で、「SORA☆星の学校」やナックが運営する施設の天体プログラム事業をサポートしていただいている。</p> <p>また、7月中旬に、ふれあいの森に生息する「ホタル観察会」を2回、そして生き物を育てることの難しさを体感することと近隣の森にかぶとむしを増やすため「かぶとむしプロジェクト」の1回目を1月に実施した。</p> <p>（3）施設の情報提供</p> <p>①「四條畷市立野外活動センターのホームページ」に「Facebook」「Instagram」を加え、更新を活発に行うことで、多くの方に施設の情報、自主事業などを分かりやすく提供することに努めた。</p> <p>利用促進活動としては、ダイレクトメール（案内を希望されている方のみ）、四條畷市広報誌や同ホームページ、野外活動センターホームページでの事業案内の更新、近隣施設へのチラシの配布、校長会や老人クラブ連合会等の市内団体の会議に出席して施設のPRを行い、旅行者等に学校団体用のプラン冊子を送付するなど、広報、利用促進に努めている。</p> <p>（4）安全確保対策</p> <p>①施設運営における各種マニュアルを備え、それに沿った対応を図るよう常に努め、事故があった際の対応としましては、事故等管理体制をもとに対応するようにしている。なお、自主的に行っている消防訓練の際には、AEDの扱いについても熟知するよう努めている。</p>

維持管理状況	<p>(5) 保守点検 ①職員の出勤時、帰宅時には、サイト内点検を行い、施設内に異常がないか、日々の確認と点検に努め、破損箇所は職員の作業で簡易補修、または業者の修繕を行っている。平成 29 年度は、職員の指導のもと、天体機器に精通している市民ボランティアにより、徹底的にメンテナンスを行い、天体機器をいつでも活用できるようにした。</p> <p>(6) 清掃業務 ①利用受入れ前に、利用者が快適に活動できるよう、活動場所の清掃と活動中も現場の様子を確認し、ごみの処理やトイレの点検を行い、清潔で衛生的なキャンプ場であるように努めている。また、草刈や枝葉の剪定を行っている。</p> <p>(7) 警備業務 ①職員帰宅後の夜間警備及び火災警備は業者に委託している。</p> <p>(8) 環境への配慮 ①日頃エアコンなどの運転は控え、利用者の居ない時は事務所の電気を節約するなどの経費削減に努めるほか、「雨水タンク」による打ち水利用、廃材を利用してのピザ窯用の薪作りなど、利用者にはゴミの分別を促すなど、施設として考えられる取組みを継続的に実施している。</p>
利用状況	<p>年間利用者数は、日帰りが 12,924 人、宿泊が 1,176 人の合計 14,100 人の利用であった。前年度と比較し、日帰りは 420 人の増加、宿泊は 19 人の減少となった。</p> <p>利用件数は昨年の 630 件から 596 件の 34 件の減少となった。</p>
収支状況	<p>当年度収入合計 21,717,166 円、当年度支出合計 21,233,676 円 収支は、483,490 円の黒字であった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項目	29年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者 調査方法：施設利用者を対象にアンケートを配布し、回収した。 回答件数：291 件</p>
調査の結果	<p>施設利用の印象・雰囲気：「良い」245 件、「普通」46 件、「良くない」0 件 職員の対応：「良い」267 件、「普通」24 件、「良くない」0 件 施設予約システムについて：「簡単」144 件、「普通」147 件、「手間がかかる」0 件</p>
主な苦情・意見等	<p>交通アクセスについて、「施設に気づかず通り過ぎた方もいる」。施設の設備について、「もう少し遊具があれば子どもたちが楽しい」などの意見があった。</p>

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5	●4	○3	○2	○1
講評	<p>利用者数は、日帰りは増加しており、リピーター数も増えていることがアンケート結果から見て取れる。</p> <p>「施設の印象・雰囲気」、「スタッフの対応」の設問結果にもスタッフのみなさまのホスピタリティの高さが表れており、それが利用者数の増加に反映されていることは高く評価できる。また、利用件数は減少しているが、複数の家族が誘い合っでの申込みがあることから、満足度が高く、リピーターとなっている利用者が多いことが伺える。野外活動センター運営初年度よりも 2 倍近くの利用者数となっていることは評価できる。</p> <p>また、市民協働の観点から、養成講座等ボランティアの育成にも力をいれているが、市民参画の機会を今後より増やす努力をしていただき、運営に携わるボランティア等を育成していただきたい。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るため努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>				

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果